

5章1節11 探究ナビ I 「対話的に学ぶとはどういうことか」

授業者：酒井将平 他 1年間 1年生全クラス

本質的な問い	対話的に他者と向き合い、自分を変えていくことができる。		
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> ①問いをつなげながら探究活動をする中で、新しい価値を生み出すような問いを立てることができる。 ②自己と他者の間に生じるジレンマを受け、他者を肯定的に受け止めて協働し、創造的な活動を行うことができる。 ③集団活動における役割分担の中で、相手が情報を発信しやすいように、また、相手が受け止めやすいように働きかけることができる。 		
論点 (深めるために)	自分と他者が対立したとき、どちらかを優先することが本当にできるか？		
実践の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ①授業の意義を理解し、自問しながら取り組んでいた。 ②振り返り用紙を工夫することで、協働、創造に対する意欲が見られた。 ③「リーダーとして」よりも「ファシリテーターとして」の働きかけが見られた。 		
問いの構造化			
	Ideas	Connections	Extensions
導入展開の問い	②コミュニケーションゲームをうまくやるコツは？	<ul style="list-style-type: none"> ③失敗は必ず起こるが、できる限りやりとりを成立させるためには、どうすればいい？ ④日常で、やりとりが成立しないのはどんなとき？ 	①コミュニケーションが上手な人ってどんな人？
洞察を促す問い	<ul style="list-style-type: none"> ⑤災害時に気をつけるべきことは何？ ⑧いくつ仕事を知ってますか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑦同じグループの2人の考えが対立しているとき、あなたはどうする？ ⑨あの子が憧れてる仕事はどんな感じ？ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥災害時、あなたならどう行動する？ ⑩もし、プロとして職業説明会に呼ばれたら？
本質的な問い	⑩面白い劇ってどんな劇？	⑩あなたにとって対話的であるとはどういうことですか？	⑫観ている人を楽しませるために、どんな劇をつくることができますか？
生徒の変容 (ICE ルーブリック)			
	Ideas	Connections	Extensions
教科・科目に特有の知識・技能	自分の知らないことについて問いを立てることができる。	自分の知りたいことに向けて問いをつなげ、探究することができる。	探究する中で、新たな価値を生み出すような問いを立てることができる。
教科・科目に特有の見方・考え方	他者を肯定的に受け止める「yes and…」の大切さを認識することができる。	自己と他者の対立やジレンマを乗り越えて協働することができる。	他者を肯定的に受け止めて協働することで、創造的な活動を行うことができる。
汎用的な能力	集団活動における自分の役割を認識できる。	集団活動における役割分担の中で、必要な情報を受け止め、必要な相手に伝えることができる。	集団活動における役割分担の中で、相手が情報を発信しやすいように、また、相手が受け止めやすいように働きかけることができる。